

# 桃花台学園相談支援部だより 3

高等支援学校桃花台学園  
令和8年1月発行



2026年がスタートしました。今年は午年、馬のように力強く前に進む1年にしたいものです。  
さて今回は、「小中学校段階から取り組める働くための土台作り」の第2弾です。本校の学校生活の様子を時間の流れに沿って示しながら、本校で学びを積み重ねていくために必要な力や学校生活をおして育てたい力について紹介します。

## 8:30 登校

スクールバスは補助手段、自力での登校が基本です。



## 8:35 SHR

短時間で授業の準備や着がえを済ませます。



## 8:50 授業

午前は45分×4コマ、基本ノーチャイムです。20人程度の集団で学習することが多いです。



## 12:20 清掃・給食

短時間で清掃、給食の配膳を済ませます。



## 13:20 授業

午後は45分×2コマ  
授業の振り返りではPCに入力したり日誌に記入したりします。



## 15:05 SHR

## 15:20 部活動

※火・木曜のみ

## 16:45 下校

※部活動時



しっかり睡眠がとれ、朝は自分で起きられる

電車や自転車を使い自力で登校できる

自分の持ち物の管理や準備ができる

素早く着がえができる

気分が安定し、前向きに学習に向かえる

あいさつ・返事・質問・報告ができる

時計を読み時間で行動できる

周囲と協力して作業ができる

一定時間集中して作業に取り組むことができる

先生の話を聞いて行動したりメモをとったりできる

授業の感想や自分の考えを書くことができる

自分の役割がわかり、責任をもって取り組める

ルールを守って行動できる

好きなことや熱中できるものがある

上に挙げた項目は、前回紹介した『就労準備性ピラミッド』の中の第1段階から第4段階である「健康管理」「日常生活技能」「対人技能」「基本的労働習慣」にあてはまる内容です。つまり、本校での学習の積み重ねが働き続けるために必要な力となっていきます。もちろんすぐには難しいこともあると思いますが、意識して学校生活や家庭生活を送ることで、自分の得意不得意を知ったり、どんなサポートがあったら取り組みやすいのかを考えたりするきっかけになるはずです。